

専門部会 サービスのあり方検討会報告

1 目的

市内の特定相談支援事業所の相談支援専門員は、権利擁護の視点を大切に、個別支援の実践とともに社会環境の調整を行い、地域課題に関する利用者の意思を決定するための支援をするとともにニーズをアセスメントし代弁する役割がある。相談支援専門員のケアマネジメント能力の向上と均質化、調布市におけるサービスの支給決定の考え方の共有、情報交換等を図り、ひとりひとりの尊厳のある暮らしが満たされる社会を構築することをめざし、よって障害者福祉の増進に資することを目的とする。

2 出席者

調布市内の指定特定相談支援事業所（14事業所）の相談支援専門員

- (1) NPO 銀河福祉会 銀河ケアサービス（知的・障害児）
- (2) 社会福祉法人 新樹会 地域生活支援センター 希望ヶ丘（主に精神）
- (3) 社会福祉法人 調布市社会福祉協議会 相談支援事業所 ドルチェ（主に身体、障害児）
- (4) 社会福祉法人 調布市社会福祉事業団 ちょうふだぞう（主に知的）
- (5) 調布市 福祉健康部障害福祉課（身体・知的・精神・障害児）
- (6) 調布市 子ども発達センター相談支援事業所（主に障害児）
- (7) 一般社団法人 障害者自立相談支援協会（主に身体）
- (8) 社会福祉法人 調布市社会福祉協議会 相談支援事業所 調布市こころの健康支援センター（主に精神）
- (9) 社会福祉法人 新の会 プラントシード（主に知的）
- (10) 合同会社 フォーリーフ・クローバー エアリ（身体・知的・精神）
- (11) 合同会社 マーレ相談支援事務所（主に知的・精神）
- (12) 株式会社シエル シエル相談支援センター（身体・知的・精神・障害児）
- (13) 一般社団法人 ライフタイムコンディション K I Z U N A 相談支援センター調布（障害児）
- (14) 特定非営利活動法人 ポコポコ・ホッピング ポコポコ・ホッピング神代団地（障害児・知的）

3 開催実績（各回2時間程度）

(1) 第4回

①日時：令和4年11月21日（月） 12事業所15名参加（2事業所欠席）

②内容：「障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行の際の相談支援事業所の支援について考える」

地域包括支援センターの職員に出席を依頼し、障害福祉サービスから介護保険サービスに移行した方の事例を通して、スムーズな移行のために相談支援事業所がどのような関わりができればよいかを考える機会とした。

65歳を迎え、障害福祉サービスから介護保険サービスに円滑に移行するためには、相談支援専門員も介護保険サービスについて知識を持ち、早めにサービスの違いを説明し、日単位、週単位の生活のイメージを当事者と共有できるとよいということを全体で認識することができた。

4 今後について

以降2回の検討会では、次の2つのテーマで開催する予定。

- (1) 医療的ケア児・者が利用できるサービスについて理解を深める
- (2) 居宅介護事業所と合同での意見交換

(1) については、令和5年1月16日に、医療的ケアの当事者から在宅生活のこと、相談支援専門員に知ってもらいたいことなどを話していただく内容を予定していたが、諸事情により、今年度の開催は中止となった。同内容で来年度改めて研修をしていただく予定となっている。

医療的ケアについては、日程と内容を変更し、令和5年2月20日に開催予定。障害福祉課より医療的ケア児・者が利用できるサービスについて研修を行い、その後、事例を通し、医療的ケア児・者の生活やサービスについて考えるグループワークを行う予定。

(2) については、昨年度の「相談支援事業所と居宅介護事業所の連携についての実態把握ワーキング」で居宅介護事業所と相談支援事業所の関係性構築の場が重要であるとの結論から、その場をサービスのあり方検討会で設けることになった。今回は初めての取り組みとなる。